

講義名：「ベンチャー起業応用研究」

講義実施日： 2016年3月5日（土）、12日（土）、19日（土）

いずれも1限～5限

担当教員： 尾崎弘之 ozaki@hawk.kobe-u.ac.jp

授業のテーマと目的

本講義は「ベンチャー企業の経営」をテーマとする。2015年は87社の企業が国内市場でIPOを達成した。この社数は世界金融危機、2009年の4倍以上の水準である。IPOを達成するベンチャー企業が増えているのは、金融緩和、株式市場の好調以外に、日本においてアントレプレナーの輩出が進んでいることが大きな要因である。ベンチャー公開市場である東証マザーズが開設されて15年になるが、ベンチャーの成功要因について学ぶ環境が日本でも整ってきた。

本講義では、アントレプレナーシップ、ベンチャー企業経営に関する理論と最新情報を基に、起業・新規事業部門立ち上げに必要なディスカッションを経験し、受講者が実践に生かすことを目的とする。

授業の概要と計画

本講義は、1日あたり5コマx3日間（計15コマ）のスケジュールで実施される短期集中講義である。基本理論の講義、グループに分かれた新規事業のアイデア・ディスカッション、グループごとのプレゼン、ゲスト講師による講義で構成される多面的、実践的な講義である。具体的には下記のスケジュールで実施される。

第1日(3/5)

- ① ベンチャー企業とは。ベンチャー企業の成功と失敗
- ② ベンチャーのビジネスモデルを理解する
- ③ 新規事業のアイデア・ディスカッション（金融サービス分野）
- ④ アイデアのグループ別プレゼン（金融サービス分野）
- ⑤ ゲスト講義とラップアップ（ゲスト：株式会社パワーソリューションズ高橋忠郎取締役）

第2日(3/12)

- ① ヘルスケア・ビジネスにおけるベンチャー企業の役割
- ② ヘルスケアのビジネスモデルについて理解する
- ③ 新規事業のアイデア・ディスカッション（ヘルスケア分野）
- ④ アイディアのグループ別プレゼン（ヘルスケア分野）
- ⑤ ゲスト講義とラップアップ（ゲスト：バイオサイト・キャピタル株式会社谷正之社長）

第3日(3/19)

- ① エネルギービジネスにおけるベンチャーの役割
- ② エネルギーのビジネスモデルについて理解する
- ③ 新規事業のアイデア・ディスカッション（環境エネルギー分野）
- ④ アイディアのグループ別プレゼン（環境エネルギー分野）
- ⑤ ゲスト講義と全体ラップアップ（ゲスト：大阪ガス株式会社オープンイノベーション室長 松本毅氏）

成績評価と基準

講義中の発言、ディスカッションへの貢献（30%）、小レポート・3回（30%）、最終レポート（40%）

受講者が行うべき作業

各回受講前に参考資料を読み、新規事業のアイデアと背景情報をまとめた小レポートを作成すること。レポートは講義開始時に提出を要する。講義中に数人のグループを形成し、メンバーが考えたアイデアを出し合い、グループとしてのアイデアをまとめること。追加情報を含めてグループ毎にスライドを作成し、全員の前でプレゼンする。

全講義終了後、指定期限までに最終レポートを提出すること。レポートの課題については講義終了時に指示する。

講師からのメッセージ

限られた時間でのディスカッションを効率化するため、事前準備を重視し、基本的に講義時間内で疑問を解決することが望ましい。ディスカッションとプ

レゼンへの活発な参加を期待する。

テキスト

指定なし。ケース資料、その他資料、講義スライドは講義期間中に適宜配布する。

参考書

- 松田修一(2014)「ベンチャー企業 (第4版)」日経文庫
- 尾崎弘之・菊池武晴・竹ヶ原啓介(2015)「再生可能エネルギーと新成長戦略」エネルギーフォーラム
- 早稲田大学大学院商学研究科(ビジネス専攻)松田修一研究室「日本のイノベーション〈1〉ベンチャーダイナミズム—WASEDA から 35 の提言」白桃書房
- 忽那憲治ら(2013)「アントレプレナーシップ入門 -- ベンチャーの創造を学ぶ」有斐閣ストウディア

オフィスアワー

設定なし。講義時間中に質問を随時受け付ける。

以上